

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、 :主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	競輪場(職員)	・入場者数は減少傾向にあるが、購買方法の多様化により、発売総額は上がっている。今後も発売額の上昇が見込まれる。
	やや良くなる	商店街(代表者)	・春物衣服の動きが鈍かったため、反動で初夏物になると販売量は増える。
		一般小売店[茶](販売・事務)	・新茶になり商品単価が上がるため、例年より売上は上がる。他に特價商品が何品かあるため、販売量は増える。
		スーパー(店長)	・食品に加えて衣料品の動きがかなり良くなっており、単価の上昇が顕著になっている。来客数も増えており、今後も良くなる。
		スーパー(企画担当)	・大型ショッピングセンターや総合スーパーなどの影響は引き続き大きいほか、自店の改装休業もあり、来客数・客単価の急速な回復は難しい。しかし春以降は、店舗数の増加による増収の効果が徐々に出てくる。
		家電量販店(総務担当)	・近隣に新しい商業施設ができ、消費者の購買意欲を喚起するため良くなる。
		家電量販店(企画担当)	・新製品が出ており、薄型テレビ、DVD関係の動きが好調である。パソコンも少し上向いてきており、今後も良くなる。
		その他専門店[コーヒー豆](経営者)	・熊本の一部では団塊の世代が新規の店を出すという流れがある。それに伴い、店の開業準備や手続き、コンサルティング等の打ち合わせをする客が増えており、今後の売上増加も見込まれる。
		タクシー運転手	・売上が前年よりかなり良くなっており、今後も良くなる。
		通信会社(企画担当)	・順調に販売量が増加しており、今後もこの傾向が続く。
		テーマパーク(職員)	・4月の大型団体、春休みやゴールデンウィークの一般予約の伸びが期待される。
		ゴルフ場(従業員)	・2004年と比較して1割増の予約が入っている。また、週末の利用が増えており、客単価が上がる。
	設計事務所(所長)	・新年度は官公庁からの発注工事が多くなると予想され、例年より少し良くなる。	
	住宅販売会社(従業員)	・問い合わせが増えており、受注残の引き渡しも予定されているので良くなる。	
	変わらない	商店街(代表者)	・売上自体は上がっているが、来客数がだんだん減っており、今後もこの傾向が続く。
		一般小売店[青果](店長)	・野菜の相場が上がらず、青果物はかなり厳しい状況で推移する。
		一般小売店[生花](経営者)	・卒業式シーズンや母の日などのイベントでは、お祝いの花の需要があるが、イベントがない時は厳しい。
		百貨店(営業担当)	・新しい仕掛けや店舗等は集客効果があるものの、購入には至らない。趣味やし好にあった商品には支出するが、不要な商品は購入しない慎重な姿勢が続いており、今後もこの傾向が続く。来客数とレジ客数がほぼ一致し、目的を持った来店が多い。
		百貨店(営業企画担当)	・一部の顧客の購買力は上がっているが、大多数の客における消費行動に大きな変化はない。新商品などの提案は話題性があり、健闘するものの、全体の底上げにはつながらない。
		百貨店(業務担当)	・イベントに対する客の反応が鈍い。季節衣料を始め、天候に左右され部分が大きく、安定的な動きが期待できない。
スーパー(店長)		・青果の単価が落ちており、春物衣料の動きも悪く低調に推移している。	
スーパー(店長)		・客の魚離れで生鮮部門の苦戦が続いている。	
スーパー(総務担当)		・食品、住居用品は何とか前年並みに戻りつつあるが、相変わらず衣料品専門店等が前年を大幅に下回っており、今後も厳しい。	
スーパー(経理担当)		・競合店の出店が続いており、既存店は回復する間もなく厳しい状態が続く。	
コンビニ(エリア担当)		・春から夏にかけて大手コンビニエンスストアの出店があり、苦しい状況が続く。	
コンビニ(販売促進担当)	・キャンペーン等を行っても買上点数が上がらず、客の購買意欲は低い。これからも買い控え傾向は続く。		
コンビニ(エリア担当・店長)	・近隣の事業所撤退が以前に比べて多くなっている。アパート、マンションも新築される予定はなく、人が増える要素が見当たらないため厳しい。		

	衣料品専門店（店員）	・春、夏物衣料になると1品単価が下がり、セール前でいかに多く売ることが重要になってくる。今のように安くなっても買上点数が伸びなければ、厳しい状況になる。消費者の財布のひもは全く緩んでいない。	
	家電量販店（店員）	・パソコンの売行きが非常に落ちているものの、液晶テレビ、プラズマテレビ共に非常に良い伸びを示しており、今後もこの状況が続く。ナンバーポータビリティの導入から携帯電話の動きも非常に良くなっている。	
	乗用車販売店（販売担当）	・来客数、販売量が前年の9月くらいから低下傾向にあり、この流れはずっと変化しないと思われるため、今後も変わらない。	
	住関連専門店（経営者）	・キャンペーン時に売上が上がるものの、今後置き家具市場は先行きが不透明で厳しい。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・4月の燃料油仕入価格の上昇が予想され、小売価格の上昇が見込まれる。消費者は燃料油の価格変動に慣れ、価格が安い時に多量に購入し、高い時は必要な分を購入する傾向にある。	
	スナック（経営者）	・新規の客も増えてはいるが、定着率は低い。常連客に頼っており、今後もこの状況が続く。	
	都市型ホテル（副支配人）	・4月を除けば予約状況が非常に良い。	
	旅行代理店（従業員）	・ヨーロッパなどの高額商品の売行きが順調で、販売額は前年を上回る。予約人員ベースでは、国内・海外共に前年よりやや悪い。直近の予約が非常に多い。	
	通信会社（業務担当）	・4月はある程度の販売は見込まれるが、下旬以降は新商品や価格改定などもなく、あまり販売数は伸びない。	
	設計事務所（代表取締役）	・公共の建設事業は減少傾向で推移する。自治体が指名競争入札制度から一般競争入札制度に変わっていくと業者の価格競争が激しくなり、民間の建設需要も低価格が主流になりつつある。	
やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・大型ショッピングセンターが開業し1年になるが、集客力を維持しており、商店街の来街者数は依然少ない。	
	百貨店（販売促進担当）	・一部の富裕層の消費は活発であるが、大多数の客は前年以上に無駄な出費を抑える傾向が強い。	
	百貨店（販売促進担当）	・売上、来客数、客単価のいずれも落ち込みが激しく、今後も同様の傾向が続く。	
	コンビニ（店長）	・観光客が減少しており、来客数も減少している。今後も厳しい状況が続く。	
	衣料品専門店（総務担当）	・売出し用の新聞チラシ、あるいは個別のダイレクトメールを出しているがなかなか効果が出ず、来客数の減少が続いている。今後もしばらくはこの傾向が続く。	
	乗用車販売店（従業員）	・契約台数が少なくなっており、やや悪くなる。	
	乗用車販売店（従業員）	・大型トラックの受注台数が減っており、今後も厳しい状況が続く。	
	高級レストラン（経営者）	・来月の予約の状況のみでも、観光客の様子のみでも増加する気配がなく、悪くなる。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・一般宴席の予約受注は順調であるが、婚礼予約が前年を下回っている。婚礼の売上減を一般宴席ではカバーできない。	
	悪くなる		
企業動向関連	良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・人材不足により、グループ化を図った共同受注がこれから伸びていく。専門分野を強化し、数社で物事を成り立たせていく、そのような連携プレーが発揮できてきた。
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・4月の月間注文が少しずつ増えている。5、6月の行楽シーズンもあるので大いに期待する。ただ加工品の輸入量が増えているので、国内メーカー向けの取引は厳しくなる。
		家具製造業（従業員）	・金利上昇の影響もなく、特に福岡では博多駅前開発を始め大型商業施設案件が年内に3件控えており、かなりの需要が見込まれる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・設備受注にやや一服感があるものの、引き合いの感触では、夏から秋に向けて受注量が増えてくる。
		不動産業（従業員）	・都市部の土地取引が盛んになっており、価格高騰も続いている。
		その他サービス業〔物りリース〕（従業員）	・契約状況から判断すると、地域間の格差はあるものの少しずつ中小企業への景気の回復、設備投資の増加意欲がはじめてきている。
変わらない	食料品製造業（経営者）	・季節限定の商品を製造販売するため、若干の忙しさは増すものの、全体では特に良くなる見込みはない。	

	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 社社の荷動きが鈍い。原料、燃料の値上げでメーカーとして幾らか値上げをしないといけないが、現在の荷動きではそれできないため、大変苦戦している。	
	鉄鋼業（経営者）	・ 建築需要は、自動車関連・IT関連・マンション・商業施設などの新設・増設計画によって堅調に推移すると思われ、現在と同じく需給がひっ迫した状況が続く。しかし、生産者側は主原材である鉄くず価格の暴騰に見舞われており、販売価格への転嫁を加速させることになり、多くの物件はコストの見直しを余儀なくされる可能性がある。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・ 複数の取引先で受注予定があり、4月以降も期待出来る。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・ 電子部品関連の動きはさほど変わらないが、機械加工、精密機械装置関連に関しても同様に順調に推移し始めた。	
	輸送業（従業員）	・ 軽油価格の小幅な下落が続いており、しばらくは横ばいの状況が続く。	
	通信業	・ 現状の受注量を維持し、今後も変わらない。	
	経営コンサルタント	・ ビール等の新商品の動きは良くなる。	
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・ アメリカのトウモロコシの輸入価格が上がっており、今後飼料急騰が予想されるので非常に厳しい状況である。	
	食料品製造業（経営者）	・ 納入先の売上状況は相変わらず低調で、回復の兆しが見えない。逆に販売にかかる手数料等の経費が増加しており、利益も減少傾向にあるため、今後も厳しい状況が続く。	
	金属製品製造業（企画担当）	・ メイン事業である環境空調事業が属する建築設備業界は、例年4～6月は閑散期であるが、販売量、受注量の見通しは例年と比べても厳しい。	
	建設業（従業員）	・ 見積案件は多くあるが、なかなか受注まで結び付かない。また、鉄鋼等鉄製品価格の高騰、品不足で施工面でも重大な問題になっている。	
	金融業（得意先担当）	・ 地銀の追加利上げに伴う金利の見直しを3月末に行った。前回の金利引上げ時にはそれほど大きな影響はなかったが、今回は難色を示す企業が増えている。今後、更なる金利引上げが推測されており、景気が上向いていない地方で金利の先行的な引き上げを懸念する声が多く聞かれる。	
悪くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 取引先の生産台数が下がるため、厳しくなる。	
	建設業（総務担当）	・ 手持ち工事が少なくなり、非常に厳しい状況である。	
雇用関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・ キャリア採用を含め、第二新卒を含む若年層の求人数が急激に伸びており、人材が追いつかない状況である。今後3か月間は更なる求人増加が見込める。
		民間職業紹介機関（支店長）	・ 企業の来年度の採用計画が公表され、自動車・エレクトロニクス・情報通信業界の大手企業を中心に雇用情勢が好転しており、求人数の増加に期待できる。
	やや良くなる	新聞社 [求人広告]（担当者）	・ 地元自治体が自動車産業の振興政策を打ち出すなど、大手メーカーの工場新設の話題があるので、この分野の求人は期待できる。
		職業安定所（職員）	・ 雇用保険を受けている受給者数は昨年より若干減っている。しかし、給付の日数を一定以上残して早く就職した場合に出る手当の受給者の増加は目覚しく、この傾向が続けばこの先も若干良くなる。
		職業安定所（職員）	・ 新規学卒求人意欲の向上、求人全体の底上で、雇用条件の改善が図られており、良くなる。
		学校 [専門学校]（就職担当）	・ 今後、情報処理関係の求人が増える。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 新年度に向けて直接雇用の募集があっても反応が無く、良い人材がいらないので派遣オーダーとなるケースが増えている。就職支援業者も求職者の登録は増加傾向にあるが、受入先の交渉に難航しているようである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ 5月のゴールデンウィークに向けて、サービス業での求人はやや活発になるものの大きな動きは見られない。6月に入ると中元シーズンを迎える製造業や倉庫内作業などでの求人が活発になるが、今年も例年どおりで変わらない。
		職業安定所（職員）	・ 3月末の退職者による新規求職者数も6月頃になると落ち着き、今のところ大企業の進出の予定もないことからあまり変わらない。
		職業安定所（職員）	・ 当所管内は製造業と建設業が多い地域であるが、建設業に関しては公共工事の減少から景気回復感に乏しい状況である。

	民間職業紹介機関（社員）	・人材需要は例年並みに推移し、需要が大幅に伸びている業界はない。九州は自動車関連企業の進出が著しいが、事務系、オフィス系の人材需要は必ずしも活発ではない。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-